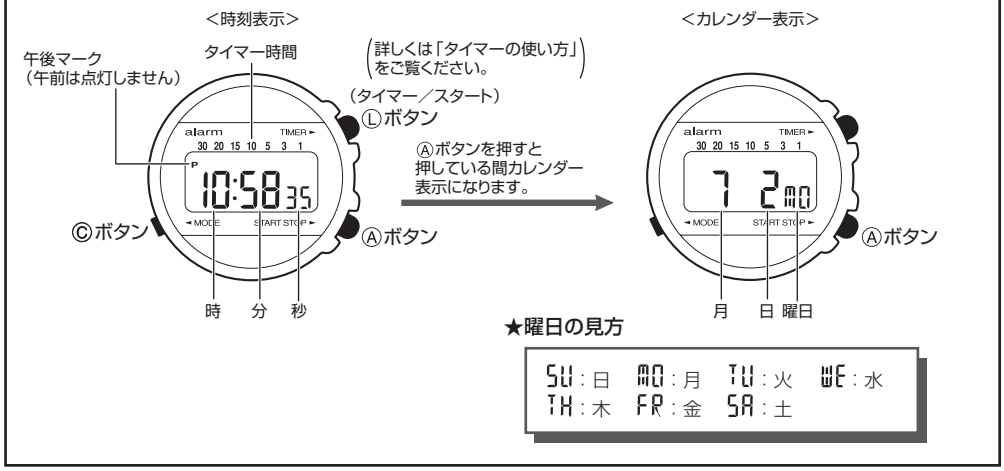
Operation Guide 506/526

CASIO

操作のしくみと表示の見方

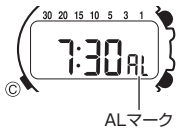
Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻・カレンダーモード



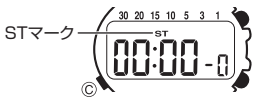
Ⓒ

アラームモード



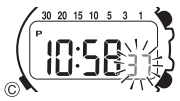
Ⓒ

ストップウオッチモード



Ⓒ

時刻セットモード

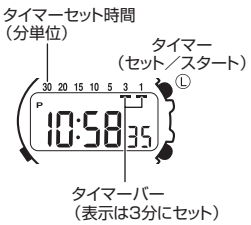


Ⓒ

タイマーの使い方

この時計はボタン１つでタイマーのセットとスタートが簡単にできます。

※ セットできる時間は、1分・3分・5分・10分・15分・20分・30分の７種類です。

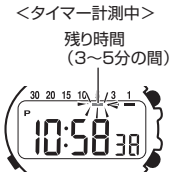


<計測終了>

タイマーの計測時間が経過（タイムアップ）すると、10秒間の電子ブザーで知らせます。

※ 電子ブザーはⓁ・Ⓐ・Ⓒいずれかのボタンを押すと止まります。

※ タイマー計測中Ⓒボタンで他のモードにしても計測は続きます。
ただしタイマーバーは時刻･カレンダーモードでのみ表示されます。



<タイマー時間のセット>

時刻・カレンダーモードでⓁボタンを押すごとにタイマーバー「▬」が１本ずつ点灯して増えていきます。希望のタイマーセット時間までバーを点灯させてください。（押すごとに確認音が鳴ります。）

※ タイマーセット時間30分までバーを点灯させた次にⓁボタンを押すとバーがすべて消えた状態（リセット）になります。



■ 計測途中で止めたいとき

タイマーを途中で止めたいときは、Ⓛボタンを押してバーがすべて消えた状態（リセット）にします。

※ タイマーを計測途中で止めて、そこから計測を再開すること（ロスタイムを含む計測）はできません。

■ タイマーセット時間の変更

タイマーのセット時間を変更したいときは、計測中でもⓁボタンを押すとバーが１つずつ増えますので、希望のセット時間に変更できます。

<計測スタート>

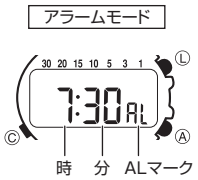
セット後、Ⓛボタンを離すと同時に計測がスタートします。（計測中は一番左のバーが点滅します。）



アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

確認→ AL マークの点灯
アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子ブザーで知らせます。
※ 電子ブザーはⓁ・Ⓐ・Ⓒいずれかのボタンを押すと止まります。
また、毎正時（00分のとき）を電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

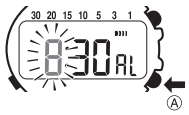


■ セットのしかた

1. アラームモードで Ⓛ ボタンを押すとアラームマーク「 」が点灯し、「時」が点滅します。



2. Ⓐ ボタンを押すと「時」が 1 つずつ進みますのでセットしたい「時」にします。
➡押し続けると早送りできます。
※午前（不点灯）／午後（「P」の点灯）に注意してください。



3. 「時」のセット後、Ⓛ ボタンを押すと「分」が点滅します。「時」のセットと同様に Ⓐ ボタンを押すと「分」が 1 つずつ進みますのでセットしたい「分」にします。
➡押し続けると早送りできます。



4. 「分」のセット後 Ⓛ ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。
➡セット後Ⓒボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻り、セットが完了します。



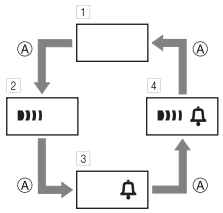
■ アラーム・時報の ON／OFF

アラームモードのときⒶボタンを押すごとにアラームマーク「 」、時報マーク「 」が下図の順で点灯、不点灯を繰り返します。
アラームマーク、時報マークが点灯しているときが、「ON」の状態です。

1 アラーム、時報マークとも消えているとき
→アラーム、時報とも OFF
2 アラームマークのみ点灯しているとき
→アラームのみ ON
3 時報マークのみ点灯しているとき
→時報のみ ON
4 アラーム、時報マークとも点灯しているとき
→アラーム、時報とも ON

● **モニターアラーム**（ブザー音が確認できます。）
アラームモードのときⒶボタンを押し続けると（押している間）電子ブザーが鳴ります。

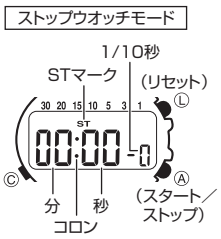




ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認→ ST マークの点灯
ストップウオッチは1/10秒単位で60分まで計測でき、以後 0 に戻って繰り返し計測されます。



■ 計測のしかた

(Ⓐ ボタンを押すごとに確認音が鳴ります)。
<スタート> Ⓐ ボタンを押す（コロンが点滅を始めます）。
<ストップ> Ⓐ ボタンを押す（コロンの点滅が止まります）。
<リセット> Ⓛ ボタンを押す（表示が 0 に戻ります）。

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ - - - - - - Ⓛ リセット

※ Ⓐボタンによって計測を一時停止した後、またⒶボタンを押して再スタートさせることができます。

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ

Ⓐ 再スタート → Ⓐ ストップ - - - - - - Ⓛ リセット

※ ストップウオッチ計測中、Ⓒ ボタンを押して他のモードにしても計測は続いています。



時刻・カレンダーの合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、時刻セットモードにします。

確認→「秒」の点滅

■ セットのしかた

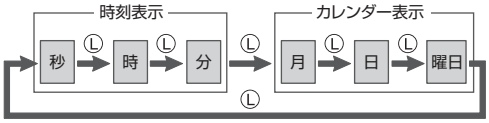
時刻セットモード

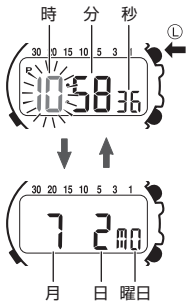


1. 時刻セットモードに切り替えると、「秒」が点滅します。

2. Ⓛ ボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。

➡時刻・カレンダー合わせは点滅個所が対象になります。





3. Ⓛ ボタンを押してセットしたい個所を点滅させ、Ⓐ ボタンを押して時刻・カレンダーを合わせます。

➡Ⓐ ボタンを押すごとに点滅が１つずつ進み、押し続けると早送りができます。

4. セット後、Ⓒ ボタンを押すと（セット個所の点滅が止まり）、時刻・カレンダーモードに戻り、セット完了です。

※ カレンダーは大の月・小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の２月29日、あるいは電池交換のとき以外は修正不要です。

● **自動復帰機能**
アラームモード・時刻セットモードで、セット操作後１～２分何も操作しないと、自動的に時刻表示にかわります。

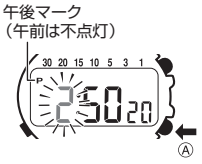
〈時刻セット例〉

〈「午前10時50分」を「午後２時５分」に合わせるとき〉

1. 時刻セットモードで Ⓛ ボタンを押して「時」を点滅させます。



2. Ⓐ ボタンを押して「時」を「10」から「2」にします。午後（P）マークに注意してください。



3. 「時」のセット後、Ⓛ ボタンを押すと「分」に点滅個所が移動します。



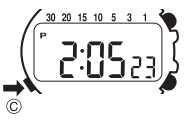
4. Ⓐ ボタンを押して「分」を「50」から「5」にします。

➡Ⓐ ボタンを押すと「分」は「59」まで進み、以後「00」に戻って繰り返し進みます。



5. 「分」をセット後、Ⓒ ボタンを押すと（セット個所の点滅が止まり）、時刻・カレンダーモードに戻り、セット完了です。

※「分」のセット後、Ⓒ ボタンを押さずに Ⓛ ボタンを押すと「月」が点滅し、時刻のセットに続けてカレンダーのセットができます。



〈カレンダーセット例〉

〈「９月28日 月曜日」を「３月７日 水曜日」に合わせるとき〉

1. 時刻セットモードで Ⓛ ボタンを押して「月」を点滅させます。



2. Ⓐ ボタンを押して「月」を「9」から「3」にします。

➡Ⓐ ボタンを押すと「月」は「12」まで進み、以後「1」に戻って繰り返し進みます。

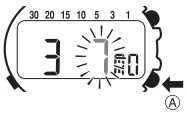


3. 「月」のセット後、Ⓛ ボタンを押すと「日」に点滅個所が移動します。

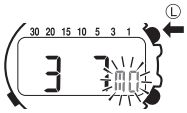


4. Ⓐ ボタンを押して「日」を「28」から「7」にします。

➡Ⓐ ボタンを押すと「日」は「月」によって「30」、「31」、（2月は「29」）まで進み、以後「1」に戻って繰り返し進みます。

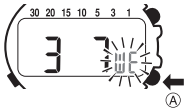


5. 「日」のセット後、Ⓛ ボタンを押すと「曜日」に点滅個所が移動します。

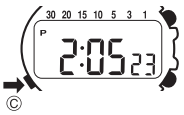


6. Ⓐ ボタンを押して「曜日」を「MO（月）」から「WE（水）」にします。

➡Ⓐ ボタンを押すと「曜日」は「SA（土）」まで進み、以後「SU（日）」に戻って繰り返し進みます。



7. 「曜日」をセット後、Ⓒ ボタンを押すと（セット個所の点滅が止まり）、時刻・カレンダーモードに戻り、セット完了です。



秒の合わせ方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、時刻セットモードにします。

確認→「秒」の点滅

■ セットのしかた…30秒以内の遅れ進みの修正

1. 時刻セットモードのとき、時報にあわせて Ⓐ ボタンを押すと秒が「00」になります。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは分表示が１分くりあがって「00」秒からスタートします。

※ 時報は時報サービス電話117番が便利です。



2. セット後、Ⓒ ボタンを押すと（秒の点滅が止まり）、時刻・カレンダーモードに戻り、秒合わせは終わりです。

